

<対策のポイント>

環境保護等を見据えた持続可能な食料供給体制の必要性や、食に求めるニーズの多様化などを背景に、世界的にフードテックビジネスが拡大するなか、日本においても、新技術を活用した事業を創出し、国内外に展開していく必要があります。フードテック官民協議会の運営による企業間の連携や協業、ビジネス実証等を支援します。

<事業目標>

フードテック等を活用した新たな商品・サービスの創出等

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. フードテック官民協議会の運営

フードテック関連企業、有識者、投資家、行政等が参画する官民協議会の運営等により、

- ① フードテック等の新技術について、**協調領域での課題解決や新市場開拓、企業間連携・協業や投資の促進**
- ② **ビジネスコンテスト開催等**により、国内中小企業の取組の発掘や消費者理解のための情報発信、国内外の企業や投資家とのマッチングの促進を行います。

2. フードテックビジネス実証事業

- ① **ビジネスモデル実証事業の支援**
国内の食品事業者、流通事業者、製造事業者、情報関連事業者、大学等の研究機関、食育・栄養関係団体等による**フードテック等を活用した新たな商品・サービスを生み出すビジネスモデルを実証する取組**を支援します。
- ② **横展開に向けた情報発信等**
①の取組により実証された内容の横展開及び消費者への普及促進を図るため、実証成果をとりまとめたウェブページ等の成果物の作成、セミナーの開催等による**情報発信等の取組**を支援します。

1. フードテック官民協議会の運営

【食に関する幅広い事業者、団体等が参画】

- 作業部会等による課題の整理や解決策の議論
例：分野別ロードマップの検討と共有
有識者を交えた業界ガイドラインの検討
- ビジネスコンテストや勉強会、官民協議会総会等を通じた国内企業の取組発掘、国内外の企業や投資家とのマッチング促進



2. フードテックビジネス実証事業



発芽大豆素材を用いたタコス



未利用農産物の微細粉末化によるアップサイクル



昆虫飼料と有機肥料ペレット



ゲノム編集集育種技術を活用した機能性成分含有量が多いトマト



AI調理ロボット



3Dフードプリンターを用いた介護食

事業戦略検討、試作品製造、マーケティングリサーチ、商品デザイン、テストマーケティング、販路確保、原材料確保

<事業の流れ>

